

平成18年度 第38回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成18年10月3日(火) 13:30~15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、国武副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷
外国語学部長、迎経済学部長、木下文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学
学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、伊藤国際教育
交流センター長、棚次学術情報総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤
教育センター副センター長、吉塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配布資料

- 1 欠員補充申請書(経済学部)
- 2 北九州市立大学と仁川発展研究院との研究交流協定について
- 3 自然災害等における休講の取り扱いについて(案)
- 4 授業手当新設に関する各学部等の意見
- 5 平成18年度前期学友会交渉申し入れ書に対する回答(案)
- 6 自然災害時における防災体制について
- 7 留学生の資格外活動(アルバイト)について
- 8 北九州市内4大学スクラム講座プログラム

(冒頭、第37回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の採用について

* 4月採用人事について、経済学部からの申請に基づき、「データベース」「データ構造」「データ管理」を担当する教員(准教授または講師)の採用を提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(提案の承認の後、選考委員会を設置)

第2号 北九州市立大学と仁川発展研究院との研究交流協定の締結について

* 北九州市立大学と仁川発展研究院との研究交流協定の締結について、資料2のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 自然災害等における休講の取り扱いについて

* 自然災害等における休講の取り扱いについて、資料3のとおり提案。あわせて、資料6「自然災害発生時における防災体制について」の報告がなされた。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 教員手当の見直しについて

* 教員手当の見直しについて、各学部長が資料4のとおり各学部の意見について説明。

- 手当の管理について、学部長及び学科長が行うことは困難ではないか。
- どの教員が対象となるのか、どの授業コマが教員手当の対象となるのかという点を確認してもらおう趣旨である。
- この制度は時限措置か。
- そうではない。
- 実質上の労働強化につながるのではないか。
- 教員個人の選択を最大限尊重するもので、労働強化とは関係がない。
- 人間文化研究科は夜間主大学院として設置されているので、夜間主手当について考慮してほしい。
- 社会システム研究科では、学部所属の教員に夜間授業を担当してもらっている。影響が大きいため、夜間主手当は残してほしい。
- 卒業研究という科目を設定しているが、標準コマ数に含まれると考えていいのか。
- カリキュラム時間外等で個別に行う「卒業研究」は、カウントしがたい。
- 受講者数も授業手当の算定基準に含むべきある。
- コマ数・受講者数を評価する教員評価と今回提案の授業手当は二重の便益になるのではないか。
- 教員評価とは趣旨が異なる。授業負担の平準化を推進するなかで、どうしても過負担になる教員については手当で対応するというのが今回の目的である。
- 論点が整理されてきたので、これをもとに最終的な案を検討したい。

【議長】各学部等からの意見をもとに、再度修正提案を審議したい。

【委員全員】（異議なし）

第5号 学友会交渉申し入れ書に対する回答について

* 学友会交渉申し入れ書に対する回答について、資料5のとおり提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①留学生の資格外活動について、資料7のとおり報告があった。
- ②平成18年度4大学スクラム講座の実施について、資料8のとおり報告があった。
- ③次回の審議会を10月24日（火）に開催する予定である旨、報告があった。